

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通株式会社	館山市街地循環バス 系統:循環 運行回数:6回/日 運賃:現金200円・ キャッシュレス決済160円	・運賃収入増加を目指し、利用者数の増に向けて広報活動を実施した結果、前年度と同等の乗客数となった。しかしながら、前年度に比べ車両リース料による経費が上昇し、収支率は悪化した。 ・運賃以外の収入を確保するため、車内広告枠の販売を行った。(R7:1件)	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	C 目標:令和7年度の1日当り乗車人数 45人/日 年間収支率15%以上 実績:32.1人/日 収支率6.39% 分析:EVバス導入による車両経費増のため、収支率は目標不達だが、乗客数は維持された。	・利便性向上及び、利用者増加を目的に運行経路や時刻表を見直すとともに、広報活動を実施する。 ・今後の運行維持を図るため、運賃の見直しなど、必要となる施策を検討・実施する。
鏡浦自動車株式会社	デマンド型交通「チョイソコ南房総・館山」 営業区域:南房総市富山地区の一部、三芳地区、館山市館野地区の一部、九重地区の一部 運行日:月・火・木・金・土 運行時間帯:8時30分～15時30分(13時～14時除く) 運賃:300円～700円	・定額乗車券や回数乗車券などのお得な乗車券の周知について、車内告知を中心に行った。このほか、利便性向上を図るため、乗降場所を2カ所増やした。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:令和7年度の1日当り乗車人数 6人/日 実績:7.5人/日 分析:実証運行から継続して運行してきたことにより、定期的にご利用いただく方が増えてきたことによると考えられる。	・定額乗車券や回数乗車券などのお得な乗車券の周知を引き続き行い、定期利用者を増やしていく。 ・他エリアからの乗り継ぎ利用などモデル利用を作成し、周知や、モデル体験等を検討し、利用者増へ繋げる。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	一部の目標は未達成となったものの、広報活動の実施による利用者促進や乗降箇所を増やし利便性向上に取り組まれたことを評価する。 循環バス及びデマンド型交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名: 木更津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富来田地区まちづくり協議会	<p>デマンド型交通「ふくちゃんバス」</p> <p>営業区域: 富来田地区</p> <p>運行日: 水曜、金曜</p> <p>運行時間帯: 午前9時から午後4時</p> <p>運賃: 1回の乗車毎に片道500円(富来田地区内、尾張屋、おどや)、750円(ほたるの眼科)、1,000円(萩原病院)</p>	<p>・利用促進を進めるため、地区社会福祉協議会主催のコミュニティカフェ参加者および、地区公民館を利用する地域住民に対して利用方法の説明等を行い、利用登録者を12名増やすことができた。</p> <p>・住民にとって分かりやすい周知を行うことを検討していただいたとの評価結果を受け、地区公民館だよりへの情報掲載を行った他、ローカルテレビへの取材に応じる等の発信を行った。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標】</p> <p>①利用者について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ7人／日 ・延べ50人／月 <p>②令和6年度実績(45.5%)と比較して、収支率1%改善。</p> <p>【実績】</p> <p>①利用者について、</p> <p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ 5.7人／日 ・延べ51.5人／月 <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ 6.2人／日 ・延べ65.3人／月 <p>②収支率</p> <p>【令和7年度】40.3%</p> <p>【令和6年度】45.5%</p> <p>➡5.2%減</p> <p>【分析】</p> <p>・利用者数および運行便数が減になったことに加え、運行回数に対して燃料費が増になったため、収支率の減の要因であると考えられる。</p>	<p>・利便性及び収益の向上を図るために、利用者の需要の変化に合わせた目的地の見直しを行った。(令和7年10月1日開始)</p> <p>・収支率の改善のため今後も乗合運行の実施に努め、効率化を図る必要がある。</p>

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

コミュニティカフェや地区公民館における説明の実施などの周知活動に取り組まれたことを評価する。
収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年 1月 26日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鐵道株式会社	市民バス「モバス」 南部(鶴枝)コース 系統:茂原駅～三ヶ谷神社～茂原 駅(20.9km) 運行回数:5便/日 南部(五郷)コース 系統:茂原駅～石神集会所～茂原 駅(12.1km) 運行回数:4便/日 運賃:200円(障害者手帳所持者、 その介助者、運転経歴証明書所持 者、小学生は100円)	・引き続き利用促進の取り組みを進めて いただきたいと評価結果を受け、「茂原市 交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道 駅等に配布するとともに、商業施設にご 協力いただき、入口付近に配置すること で、さらなる周知を図った。また、広報「も ばら」に市民バス「モバス」の利用方法等 に関する記事を掲載し周知を図った。 ・利用促進のため市民バス「モバス」の各 コースの乗降者数等の分析をし、状況把 握に努めた。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	C 事業が計画に位置付けら れた目標を達成できなかった。 (市民バス、デマンド交通合算値) 目標:22,650人/年 99.5人/日 実績:21,291人/年 93.2人/日 分析:前事業年度より増加 したものの、目標値には及 ばず。利用者を増やすため 利用者ニーズの把握に努 めたい。	・各コースの利用状況を把握 し、現コースの変更や新規コ ースの創設について検討する。 ・運賃収入以外の収入源の確 保のため、引き続き市民バス の車体等に、有料広告を募集 し掲載を行う。 ・市民バス及びデマンド交通共 通の回数乗車券の周知に努 め、公共交通の利用促進を図 る。 ・転入者に交通マップの配布を 行い、公共交通の周知を図る。
都自動車株式会社	デマンド交通「ふれあい」 運行区域:市内北西エリア 運行日:月・水・金曜(祝休日・年末 年始運休) 運行本数:8便/日(8時、9時、10 時、11時、13時、14時、15時、16時) 運賃:400円(障害者手帳所持者、 その介助者、運転経歴証明書所持 者、小学生は200円)	・引き続き利用促進の取り組みを進めて いただきたいと評価結果を受け、「茂原市 交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道 駅等に配布するとともに、商業施設にご 協力いただき、入口付近に配置すること で、さらなる周知を図った。また、広報「も ばら」にデマンド交通「ふれあい」の利用 方法等に関する記事を掲載し周知を図っ た。 ・利用促進のため、デマンド交通「ふれあ い」利用者の地区別割合や行き先等の分 析をし、状況把握に努めた。	A 事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施され た。	C 事業が計画に位置付けら れた目標を達成できなかった。 (市民バス、デマンド交通合算値) 目標:22,650人/年 99.5人/日 実績:21,291人/年 93.2人/日 分析:前事業年度より増加 したものの、目標値には及 ばず。利用者を増やすため 利用者ニーズの把握に努 めたい。	・利用需要の高い高齢者を中 心とした利用促進策を講じて、 利用者の拡大に努める。 ・さらなる利用促進を図るた め、エリア拡大について検討す る。 ・市民バス及びデマンド交通共 通の回数乗車券の周知に努 め、公共交通の利用促進を図 る。 ・転入者に交通マップの配布を 行い、公共交通の周知を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	交通マップ等を使用した周知やニーズの分析による利用促進に取り組まれたことを評価する。 路線の再編にあたっては、民間路線バスとコミュニティバスの役割分担にも留意し、地域全体として最適なネットワークとなるよう取り組むことに期待したい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 東金市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
東金タクシー有限会社	デマンド交通(東金市乗合タクシー)市内全域	○予約キャンセルの連絡をしてこない常習者に適宜電話にて口頭注意を実施した。 ○利用者が希望する時間に予約が取れなくても、別の時間帯を提案することで、利用に繋げる取組みを実施した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C	【目標数値】 1日当たり利用者数 50人 (前回目標 50人) 【結果】 1日当たりの利用者数 39.34人 (前回実績36.12人) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりデマンド交通の利用者はコロナ前の数値には届いていないが、徐々に回復傾向にある。 利便向上に向けて効率的な運行が可能になるよう予約キャンセル常習者への口頭注意等を随時実施し、予約方法の見直しの検討をすることにより、当日予約キャンセル数や予約不成立件数の削減に努めている。
南総タクシー株式会社						
小川タクシー有限会社						
仲田タクシー有限会社						
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	希望時間での予約ができなかった際別の時間を提案する等、利用の促進に取り組まれたことを評価する。 乗合タクシーの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。					

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 8年 1月 26日

協議会名:	旭市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成バス千葉イースト株式会 社 干潟ルート(CC-4-1)	ひかた市民センター～東6区集 会所～東1区集会所～旭中央 病院	これまで、交通空白地域解消 を目的とした一部ルート延伸 や、JRにあわせた運行ダイヤ 改正、安全を考慮した運行 ルートの変更など、各種の見直 しを行い、運行を維持してき た。これらにより、移動の円滑 化も図られ、計画実施による効 果が見られている。 利用促進やバス教育のため、 令和7年8月の1か月運賃無料 を実施したため、乗車人数が増 加した。 運賃収入以外の収入源の確 保のため、コミュニティバスの 車体に有料広告の掲載を行っ ている。 引き続き総合公共交通マップ を発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市HPで周知を行っ た。	A事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	C事業が計画に位置付けられ た目標を達成できなかった。 目標 利用人数 240人/平日1日 収支率 16.7% 実績 利用人数 200人/平日1日 (干潟ルート 18.1人) 収支率 9.27% (干潟ルート 3.76%) 少子高齢化による人口減少 等により、利用者が減少して いるが、前年度と同等の水準 を維持。	引き続き運賃収入以外の収 入源の確保のため、コミュニ ティバスの車体に有料広告を 募集し掲載を行う。 また、総合公共交通マップを 発行し、市内各戸配布等を行 い、運行内容の周知を行い利 用者の回復を図る。 地域公共交通計画に基づいた 改善等を行っていく。
京成バス千葉イースト株式会 社 干潟ルート(CC-4-2)	干潟駅～湯木坂上～東1区集 会所～旭中央病院				
京成バス千葉イースト株式会 社 干潟ルート(CC-4-3)	干潟駅～湯木坂上～ひかた市 民センター				
京成バス千葉イースト株式会 社 干潟ルート(CC-4-4)	ひかた市民センター～湯木坂 上～干潟駅				
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	旭南地区	令和5年3月に策定した地域 公共交通計画に基づき、利便 性向上策として、エリア跨ぎ運 行(医療機関を中心とする)を 令和6年4月より運行開始。 地域の介護・福祉事業所へ の説明会実施や市役所関係部 署と連携し、周知を行ったこと で利用登録者を増加させた。 引き続き総合公共交通マップ を発行し、市内各戸、各公共施 設に配布、市HPで周知を行っ た。 また、定期的に乗降対象施設 の更新を行った。	A事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	B事業が計画に位置付けられ た目標を達成できていない点 があった。 目標 利用者数 37人／1日 収支率 13.0% 実績 利用者数 33.8人／1 日 収支率 12.6% (旭南 13.4%) (干潟・旭北 11.4%) (海上・飯岡 10.8%) (市内医療機関 12.1%) 人件費の高騰に伴い、コー ルセンターの人件費が高騰し たため、収支率が低下した。	利用登録者の増加に向けて、 引き続き総合公共交通マップを 発行し、市内各戸配布等を行 い周知を行う。 また、市役所関係部署で連携 し、利用者となる高齢者団体等 に周知を行っていき利用者の 確保に努める。 定期的に乗降対象施設の更 新を行い、利便性の向上に努 めていく。 地域公共交通計画に基づい た改善等を行っていく。 また、コールセンターを業者 委託にすることで、土日・祝日 の予約受付、経費の削減を図 る。
旭タクシー株式会社 旭市デマンド交通	干潟・旭北地区				
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	海上・飯岡地区				
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	旭市内全域 (医療機関を中心とする)				
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	公共交通マップの発行や説明会の実施、関係部署との連携で周知に取り組まれたことは評価できる。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当な コストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月30日

協議会名： 勝浦市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
エミタスタクシー南総株式会社 小湊鉄道株式会社	デマンドタクシー (上野地区、大沢地区、浜行川 地区、興津地区の一部、小松 野地区、大楠地区及び松部・ 串浜・新官地区の一部、部原 地区)	○市広報誌にデマンドタクシー 及び高齢者タクシー利用助成 の案内記事を掲載し、周知及 び利用促進を図った。 ○利用促進のため、デマンドタ クシーの乗降者数等の分析を し、状況把握に努めた。 ○デマンドタクシー利用者に対 してアンケートを実施し、利用 者ニーズの把握に努めた。 ○交通空白地域解消を目的と したデマンドタクシー運行区域 拡大に伴い、新たな運行地区 において利用説明会を開催す るとともに、交通弱者等の生活 交通の確保を図った。	A 事業は計画どおり適切に 実施された	【目標】 利用者数 4,395人 (1日当たり 15人/日) 【実績】 利用者数 6,557人 ※対前年度比+2,225人 (1日当たり 22.4人/日) ※対前年度比+7.6人) 【分析】 利用者数及び1日あたりの 乗車数の増加については、 路線バスの再編に伴い令和 6年10月より運行台数を1台 増やしたこと及び運行区域 を拡大したことが要因であ る。目標値には達成している ものの、引き続き利用実態 動向を把握し、運行事業者 と情報共有しながら状況に 応じた運行区域の拡充や運 行ルールの変更などの検討 をするとともに利便性の向上 を図っていく必要がある。	○今後も広報やHP等を活用 し、利用促進に向けた継続的 な啓発等を実施する。 ○利用促進を図るため地域公 共交通計画に定める各種事業 に取り組んでいく。 ○地域住民に分かりやすい総 合公共交通マップを作成し、情 報提供に努め利用促進を図 る。 ○アンケート結果を踏まえ、利 用実態動向とニーズを把握し、 事業者とともに必要な見直し の検討を図り利便性向上に繋げ る。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	記事の掲載による利用促進や、アンケートの実施によるニーズの把握に取り組まれ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 デマンドタクシーの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月28日

協議会名: 市原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鐵道(株)	①鶴舞バスターミナル～湯原 ～里見駅(10km) 運行回数:2.5回/日 運賃:450円	関係者と協議のもと加茂学 園の児童生徒の通学に対応し たダイヤ及びルートにより運行 を行うとともに、運行内容の見 直しを行った際には学校と連 携して周知を図っている。 また、特別日課に対応し運行 するなど、加茂学園の利用者 を増加させる取り組みも行っ ている。 そのほか、市ウェブサイト で高速バスや小湊鉄道線との接 続について周知し利用促進を 図った。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	A 加茂学園の児童生徒の 通学手段の確保に寄与し た。 コロナ流行前の直近の実 績(R元年度)は51.04人で あったが、コロナ禍による 影響を受けて近年の利用 者数は低迷した状況が続 いていた。 こうした状況を踏まえ、本 計画の目標値は直近の実 績値の維持とし、「1日の平 均利用者38.27人」と設定。 当該年度の実績は、コロナ ウイルス感染対策のため自 家用車で通学するケースが 多かったが、最近はコロナ への意識が薄れ、個々の 利用が増加したことにより、 「1日平均利用者42.50人」で あった。	本バス路線のルート及びダイ ヤについて、適宜関係者と協 議し、運行内容の改善及び利 用促進を図っていく。
	②鶴舞バスターミナル～久保 ～里見駅(12km) 運行回数:2.5回/日 運賃:450円				
	③鶴舞バスターミナル～高滝 駅～里見駅(8km) 運行回数0.5回/日 運賃:450円				
小湊タクシー(株)	デマンド型交通「戸田地区」 営業区域:戸田地区 運行日:月・水・木 運賃:500円	各地区が共通して地域内の 各世帯にリーフレットを配布し、 利用促進を図るとともに、運営 会議を開催し利用者ニーズの 把握に努めた。 そのほかの取組として、 戸田地区においては、乗車 人数自体を減少させないよう、 経営努力により利用者運賃を 維持した。 養老地区においては、1運行 あたりの平均乗車人数を増加 させるための周知活動を積極 的に行った。 市津地区においては、運行 区域拡大による利用者層の拡 大に努め、乗車人数の大幅な 増加に繋げた。	A 計画通り事業は適切に実 施された。	B 交通空白地域である3地 区において、デマンド型乗 合タクシーの運行を維持す ることにより、高齢化社会に おける交通弱者等の生活 交通の確保を図った。 ・戸田地区は目標「1運行あ たりの平均乗車人数1.22人 ／回」に対して、「1.16人／ 回」であった。 ・養老地区は目標「1運行あ たりの平均乗車人数1.14人 ／回」に対して「1.29人／ 回」であった。 ・市津地区は目標「1運行あ たりの平均乗車人数1.22人 ／回」に対して、「1.21人／ 回」であった。	地域住民や交通事業者の参 画のもと定期的に運営会議を 開催し、運行状況や運行上の 課題等を検証し、運行内容の 改善及び利用促進を図ってい く。
	デマンド型交通「養老地区」 営業区域:養老地区 運行日:火・金 運賃:650円				
(有)潤井戸タクシー	デマンド型交通「市津地区」 営業区域:市津地区 運行日:月～金 運賃:500円～2,200円				

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	一部目標は未達成となったものの、利用促進や学校と連携した周知に取り組まれたことを評価する。 路線の再編にあたっては、民間路線バスとコミュニティバスの役割分担にも留意し、地域全体として最適なネットワークとなるよう取り組むことに期待したい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月27日

協議会名: 鴨川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日東交通株式会社	1. 循環系統 金山ダム～鴨川駅西口～福祉センター前	再編後の運行内容について、利用者等へホームページによる周知や、市広報紙により利用促進を図った。また、小学校への乗り方教室など地域公共交通計画に定める各種事業に取組んだ。	A 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:7,063人 実績:7,858人	引き続き、ホームページによる周知や、市広報紙により利用促進を図り、地域公共交通計画に定める各種事業に取組み、運行計画の見直しを検討していく必要がある。
	2. 短縮系統 金山ダム～鴨川市役所～鴨川駅西口				
(有)鴨川タクシー	3. チョイソコかもがわ 江見地域	実証運行期間中の目標はすべて達成され、本格運行を今年度からスタートした。	A 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 全地域での目標を達成できなかったが、江見地域は目標を達成。 目標:6,181人(全地域) 江見地域:1,413人 天津小湊地域:1,922人 実績:5,284人(全地域) 江見地域:1,434人 天津小湊地域:1,660人 ※半期分は実証運行期間	江見地域は目標を達成し、天津小湊地域も本格運行になり、平均値は増加傾向にある。運行主体や運行事業者とともに、利用者に対し、さらなる周知を図り、乗合率の面でも効率の良い方法を検討する。
	4. チョイソコかもがわ 天津小湊地域				

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

一部目標は未達成となったものの、ホームページでの周知や広報誌による利用促進に取り組まれたことを評価する。
コミュニティバスの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

令和7年12月22日

協議会名： 君津市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
大新東株式会社 君津営業所	君津市デマンドタクシー予約便 （小櫃・上総地区）	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会にチラシを回覧して、デマンドタクシーが乗合交通であることを周知し、乗合乗車の促進に取り組んだ。 ・観光者向けのチラシを観光交流センターに配架し、デマンドタクシーの利用促進を図った。 ・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組み、公共交通への転換を促した。 ・令和7年度における目標値を関係者と共有し、目標達成に向け運行効率の向上に努めるよう相互理解を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 利用者数 15,000人 【実績】 利用者数 10,717人 収支率 8.2% （R6年度収支率7.7%） 【分析】 昨年度と比較すると、利用者数は1,461人減少した一方で運賃収入は増加した。 これは、令和5年度末まで実施していた「高齢者新型コロナワクチン接種交通支援事業」で無料だった利用分が収入に転じているものと考えられる。 ただし、運賃収入の増加は、収支率を大きく改善できるほどではなく、収支率は横ばいとなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市地域公共交通計画に基づき、デマンドタクシーの効率的な運行に向け、運行方法等を検討するとともに、引き続き乗合交通の特性を周知し、一人でも多く利用できるようにする。 ・長期的な視点で、交通事業者と連携し、運行の効率化を図るとともに、受益者負担の見直しを検討する。

地方運輸局等における 二次評価結果 （関東運輸局）	自治会と観光交流センターそれぞれでチラシ回覧・配架し、デマンドタクシーの利用促進に取り組まれたことを評価する。デマンドタクシーの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月23日

協議会名: 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続できるよう、安定的な運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 【目標】 令和7年度(R6.10～R7.9)利用者数 950人 【達成状況・評価理由】 令和7年度利用者数の実績値は996人であり、1運行当たりの利用者数は3.57人であったため、A評価とした。	今後も利用者動向を注視しつつ、事業者と共に必要な見直しを検討する。 また、地域の医療・商業施設と連携し、より利便性の高い運行方法を検討する。
NPO法人峰上交通	峰上地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続できるよう、安定的な運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 【目標】 令和7年度(R6.10～R7.9)利用者数 750人 【達成状況・評価理由】 令和7年度利用者数の実績値は1,189人であったため、A評価とした。	今後も利用者動向を注視しつつ、事業者と共に必要な見直しを検討する。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	昨年度に引き続き達成状況を継続できるよう取り組み、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 導入している交通によって市民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月19日

協議会名： 八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
京成バス千葉イースト株式会社	<p>コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 市街地循環コース（13.9km） 北コース・朝B便のみ（7.2km） 北コース・朝B便除く（30.9km） 西コース（40.9km） 南コース（32.3km）</p> <p>※系統kmはコースにおける最小値</p> <p>運行回数： 12回／日（市街地） 1回／日（北・朝B便のみ） 8回／日（北・朝B便除く） 8回／日（西） 9回／日（南）</p> <p>運賃：200円</p> <p>※南コースについては、補助対象外であるが、包括的な目標設定をしているため、ふれあいバス全体としての評価を記載しています。</p>	<p>地域公共交通計画の再編に伴う基礎調査を実施するにあたり、乗車人数以外のデータを収集・確認し、ふれあいバスの再編等に活用している。</p> <p>また、今後利用者となりうる住民等に対する新たな取組としては、既存の出前講座やコミュニティバス利用促進の周知は実施しているが、新たな取組としては現在検討中である。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された</p>	<p>B 指標①ふれあいバス年間利用者数：86,000人 実績：98,560人 前年度年間利用者数人94,562人と比較し3,998人の増加であり、目標値を達成することができた。 利用者の定着が進んだことと、新型コロナウイルス感染症の影響も薄れたことで、徐々に利用者は増加している。</p> <p>指標②公共交通に係る市の年間財政負担額：52,201千円 実績：92,284千円 指標の財政負担額を40,083千円上回り、目標値を達成することができなかった。</p> <p>主な要因としては、物価高騰等の影響により、運行経費が上昇している。また、公共交通計画の再編に伴う、基礎調査委託業務を実施したことによる。</p> <p>なお、令和6年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、運行継続が困難となった民間バス路線である「八街循環線」へ4,000千円の補助を実施した。</p>	<p>年間利用者数は、前年に引き続き、目標値を達成することができたことから、更なる利用促進に努めていきたい。</p> <p>市の年間財政負担額は、昨今の物価高騰の影響や人件費の高騰等により、年々運行経費が上昇している状況であることから、経費の削減について検討をする。</p> <p>また、令和8年10月より、コミュニティバス「ふれあいバス」の再編を実施予定であることから、市の財政状況を鑑み、運行内容の見直しを実施し、利便性を維持しつつ、運行経費を削減するとともに、利用者に対して再編内容を広く周知し、利用者数が減少しないように努めていく。</p>

地方運輸局等における
二次評価結果
（関東運輸局）

年間財政負担額については目標未達成であるものの、データを収集・分析し再編に取り組みられ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。路線の再編にあたっては、民間路線バスとコミュニティバスの役割分担にも留意し、地域全体として最適なネットワークとなるよう取り組むことに期待したい。

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月25日

協議会名: 印西市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成バス千葉セントラル株式会社	コミュニティバス(ふれあいバス) 印旛・本埜支所ルート 系統: 印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所(31.8km) 運行回数: 7便/日 運賃: 大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料	・70歳以上の方を対象にふれあいバス運行区間を無料乗車できるフレアイカを継続した。 ・バス停2か所にベンチを設置した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B <p>●利用者数</p> <p>①目標: 13人/便 ②実績: 10.4人/便</p> <p>【分析】</p> <p>・前年度比 R6: 9.8人/便 6%増 ・荒野、竜腹寺地区の利用者 R6: 659人 R6: 653人 1%減 ・停留所「本埜支所」の利用者 R6: 3,345人 R7: 4,627人 38%増</p> <p>1便あたりの利用者数は目標値に届かなかったものの、利用者は増加しており、運行遅延によるダイヤ改正(R6.4.1)によるものと考え、引き続き目標値を達成できるよう運行事業者などと情報共有し、利便性の向上に努める。</p>	ふれあいバス運行実態について検証を継続するとともに、交通不便地域への対応と併せ、必要に応じ、運行ルート及び運行ダイヤの見直しを行い、さらなる利便性の向上を図る。R8.2.1にふれあいバスの運行ルート及び運行ダイヤの改正を予定しており、引き続き改正後の利用実態などを検証し必要に応じた見直しを行っていく予定。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	無料区間の継続や、バス停へのベンチの設置による利便性向上の取り組みがされていることは評価する。 ふれあいバスの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	---

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 富里市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成タクシーイースト株式会社	富里市デマンド交通キャロリン号 (市内全域及び一部市外) 365日運行	利用者ニーズ反映のため、地域公共交通に関する庁内研究会の調査・研究内容を踏まえ、妊婦の方のドア・ツー・ドア方式の利用要件緩和及び市内で唯一、分娩可能な産婦人科の乗降ポイント新設を実施した。また、デマンド交通の利用方法などを周知する講座の開催や、自治会などからの乗降ポイント新設要望への対応によりデマンド交通の利用促進に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】 利用者数: 10,453人以上 【実績】 利用者数: 54,470人 (R6.10-R7.9) 【分析】 地域公共交通に関する庁内研究会等での調査・研究内容を踏まえた運行内容の変更(妊婦のドア・ツー・ドア利用要件緩和)や、デマンド交通の利用方法などを周知する講座の開催、乗降ポイント新設要望への対応、官民学連携で制作した「公共交通マップ(まるっと富里)」による周知などにより利用促進が図られ利用者が増加した。	利用者ニーズや運行状況を踏まえ、効率的な運行に努めるとともに更なる利便性の向上を図る。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	ニーズ反映のための調査や講座開催による利用促進に取り組まれ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 一方でデマンド交通の利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月20日

協議会名: 匠瑛市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:豊栄・匠瑛循環2便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)	①「現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。」 →デマンド型交通については、バスの再編によりバス停が減少した地区を中心に、利用者登録をされていて、未だ利用していない方向けに利用案内を送付した。市内循環バスについては、市内循環バス乗り方教室をイベント会場で開催し、まだ利用したことがない人を中心に、実際に走行しているバスへの乗車体験と利用案内・時刻表の配布を行った。 ②「生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。」 →毎年発行している公共交通ニュースを通じて、デマンド型交通と市が独自で行っている一般タクシー利用の助成事業との併用利用の例を掲載し、周知した。また、市内一般タクシー事業の稼働状況や利用実態を併せて周知した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率:8.9% 平均利用者数:25人/日 運行回数:1,172回 【実績】 収支率:4.9% 平均利用者数:14人/日 運行回数:1,172回 【分析】 周知が進み、補助対象期間の比較で前年より395人増加したが、路線バスとの重複ルートを避けたことにより利用者が減った。ただし、民業と分離し、競合を避けたことで、路線バスは、公共交通計画に掲載の目標値より13,547人上回った。	イベント会場で乗り方教室を開催し、より多くの方にバスの周知を図る。また、市内循環バスとJR総武本線を利用し、近隣高等学校への登校時間の目安を市ホームページで周知しているため、その内容をチラシで配布し、学生利用の周知を図る。
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:豊栄・匠瑛循環3便・5便 計画運行回数:各便1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:豊栄・匠瑛循環4便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		

〈④事業実施の適切性〉

※評価段階の補足説明

A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B:事業が計画に位置づけられたととりに実施されていない点があった

C:事業が計画に位置づけられたととりに実施されなかった

〈⑤目標・効果達成状況〉

※評価段階の補足説明

A:事業が計画に位置付けられた目標を達成した

B:事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった

C:事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:椿海・豊和循環1便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)	①「現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。」 →デマンド型交通については、バスの再編によりバス停が減少した地区を中心に、利用者登録をされていて、未だ利用していない方向けに利用案内を送付した。市内循環バスについては、市内循環バス乗り方教室をイベント会場で開催し、まだ利用したことがない人を中心に、実際に走行しているバスへの乗車体験と利用案内・時刻表の配布を行った。 ②「生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。」 →毎年発行している公共交通ニュースを通じて、デマンド型交通と市が独自で行っている一般タクシー利用の助成事業との併用利用の例を掲載し、周知した。また、市内一般タクシー事業の稼働状況や利用実態を併せて周知した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率:8.0% 平均利用者数:30人/日 運行回数:1,758回 【実績】 収支率:7.6% 平均利用者数:30人/日 運行回数:1,758回 【分析】 周知が進み、補助対象期間の比較で前年より129人増加し、平均利用者数の目標値を達成したが、運賃平均値が目標の運賃平均値を下回っており、収支率が目標を上回ることができなかった。	イベント会場で乗り方教室を開催し、より多くの方にバスの周知を図る。また、市内循環バスとJR総武本線を利用し、近隣高等学校への登校時間の目安を市ホームページで周知しているため、その内容をチラシで配布し、学生利用の周知を図る。
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:椿海・豊和循環2便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:椿海・豊和循環3便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:椿海・豊和循環4便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:椿海・豊和循環5便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
京成バス千葉イースト株式会社	匠瑛市市内循環バス 系統:椿海・豊和循環6便 計画運行回数:1回/日 運賃:200円(割引運賃:100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社ササモト	デマンド型交通「チューリップ号」 区域：北部エリア 系統：国道126号以北の匠瑛市内 計画運行回数：8回/日 運賃：500円	①「現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。」 →デマンド型交通については、バスの再編によりバス停が減少した地区を中心に、利用者登録をされていて、未だ利用していない方向けに利用案内を送付した。市内循環バスについては、市内循環バス乗り方教室をイベント会場で開催し、まだ利用していない人を中心に、実際に走行しているバスへの乗車体験と利用案内・時刻表の配布を行った。 ②「生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。」 →毎年発行している公共交通ニュースを通して、デマンド型交通と市が独自で行っている一般タクシー利用の助成事業との併用利用の例を掲載し、周知した。また、市内一般タクシー事業の稼働状況や利用実態を併せて周知した。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 【目標】 収支率：9.7% 平均利用者数：9人/日 運行回数：2,344回 【実績】 収支率：17.5% 平均利用者数：11人/日 運行回数：2,606回 【分析】 周知が進み、目標を達成することができた。	目標が地域公共交通確保維持改善事業用の目標値であるため、今後は匠瑛市地域公共交通計画に掲載された目標の達成を目指す。
有限会社ササモト	デマンド型交通「チューリップ号」 区域：南部エリア 系統：国道126号以南の匠瑛市内 計画運行回数：8回/日 運賃：500円		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率：9.7% 平均利用者数：9人/日 運行回数：2,344回 【実績】 収支率：15.7% 平均利用者数：10人/日 運行回数：2,194回 【分析】 北部より乗合が多く、また野田・栄循環のバス利用が多く、平均利用者数は目標を上回ったものの、乗合率が向上したことにより、運行回数は目標を達成することができなかった。	目標が地域公共交通確保維持改善事業用の目標値であるため、今後は匠瑛市地域公共交通計画に掲載された目標の達成を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	一部目標は未達成となったものの、昨年の評価を参考に利用者となり得る人への周知活動などに取り組まれたことを評価する。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。					

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月29日

協議会名:	香取市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成バス千葉イースト株式会社	香取市循環バス(小見川市街地ルート) ●系統(北西(右回り)):小見川駅～小見川高校～小見川駅(5.5km) 運行回数:4回/日 ●系統(北西(左回り)):小見川駅～小見川高校～小見川駅(5.5km) 運行回数:4回/日 ●系統(南西):小見川駅～カインズ前～小見川駅(5.9km) 運行回数:10回/日 ●系統(北東):小見川駅～くろべ運動公園前～小見川駅(8.2km) 運行回数:8回/日 ●系統(山田):山田支所～おみがわ医療センター～小見川駅(7.4km) 運行回数:1回/日 ●系統運賃: 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 障害者手帳所持者(大人)100円 障害者手帳所持者(中学生)無料	再編周知チラシや公共交通マップを作成し、公共施設、小見川地区に存する中学校及び高校等に配布及び市ホームページ、市SNSで情報発信することで、運行情報の効果的な提供を行う。 中学卒業予定者等に対し、利用促進リーフレットを配布し意識啓発を行う。 千葉県立小見川高等学校と連携した利用促進活動を行う。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標①:利用者数11,161人 実績①:利用者数20,705人 分析①:主な利用者は小見川高校の通学者であり、該当ルートの北西ルートの利用者数が全体の90.9%を占めている。 目標②:収支率10.0%以上 実績②:収支率7.6% 分析②:人件費・物価高騰等による運行経費増加により収支率が悪化したためであると思われる。	高校生の通学時間帯では、乗車率が高いため、より多くの利用者獲得のため運行便数を増便するなどの対応を検討する。また、スマホ定期の導入などを検討し、利用者数の増加及び収支率の改善を目指す。
京成バス千葉イースト株式会社	香取市循環バス(佐原市街地ルート) ●系統(西側(左回り)):佐原駅～山之辺～佐原駅(12.5km) 運行回数:4回/日 ●系統(西側(右回り)):佐原駅～山之辺～佐原駅(13.3km) 運行回数:3回/日 ●系統運賃: 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 障害者手帳所持者(大人)100円 障害者手帳所持者(中学生)無料	再編周知チラシや公共交通マップを作成し、公共施設、佐原地区に存する中学校及び高校等に配布することで、運行情報の効果的な提供を行う。 中学卒業予定者等に対し、利用促進リーフレットを配布し意識啓発を行う。 千葉県立佐原高等学校や千葉県立白楊高等学校と連携した利用促進活動を行う。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標①:利用者数13,500人 実績①:利用者数5,085人 分析①:廃止路線利用者からの流入不足、学生や観光客の利用者が少ないことが理由である。 目標②:収支率11.2%以上 実績②:収支率5.2% 分析②:利用者数の伸び悩みや、人件費・物価高騰等による運行経費増加により収支率が悪化したためであると思われる。	通学や買い物など、定期的な利用者の獲得のため、地域や事業者と連携した取り組みを検討していく。
京成タクシーイースト株式会社	小見川乗合タクシー 営業区域: 小見川中央小学校・小見川東小学校の通学区域地区(利根川以北を除く) 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:第1便8時～第9便16時 運賃:大人600円、中学生300円、小学生以下無料 障害者手帳保持者300円 障害者介助者300円	地域(住民・利用者)からのお問い合わせが多い公共交通路線を一覧でまとめた「公共交通マップ」を作成し、市HP等での周知に加え、公共施設等での配架を通じて、運行情報の効果的な提供を行う。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を見達であった。 目標①:利用者数6,400人 実績①:利用者数6,087人 分析①:登録者が高齢であり自然減が発生したことで利用者の減少につながった。 目標②:収支率18.0% 実績②:収支率14.6% 分析②:利用者数の伸び悩みや、人件費・物価高騰等による運行経費増加により収支率が悪化したためであると思われる。	利用登録者を増やすため制度の周知を引き続き実施する。また、便当たり平均乗合人数が2人未満であるため、運行便数の最適化等を引き続き検討する。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	一部目標は未達成となったものの、利用促進の取組を継続的に実施していることは評価できる。 収支率について、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和7年12月2日

協議会名： 山武市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
京成バス千葉イースト(株)	山武市基幹バス 系統：さんぶの森元気館 ～蓮沼海浜公園 （往路34.6km 復路34.6km） 平日7便 土日祝日6便	前回第三者評価の反映状況 ①今後利用者となりうる住民等 に対し新たな取組を検討して いただきたい。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	C 【目標①】 公共交通網の満足度を 46.0%以上に向上させる。 42.7%（前年度41.0%） 【目標②】 基幹バスの1日当たり利用 者数を181人以上に増加さ せる。 134.7人/日 （前年度135.5人/日） 【目標③】 乗合タクシーの1日当たり 利用者数を130人以上に増 加させる。 85.2人/日 （前年度83.4人/日） 【目標未達成の要因】 ・基幹バス 目標値は増車を前提とした 路線再編後に目指す数値と なっているが、財源の確保 を含め現在再編の目途は 立っていない状況。 ・乗合タクシー 目標値は過去の最高利用 者数を元に設定している が、運賃値上げ後は利用が 回復しない状況。 （令和4年度、令和5年度共 に100円ずつの運賃値上げ を実施）	令和5年度に策定した地域公 共交通計画に基づき、引き続 き事業の実施・検討を進める。 【基幹バス】 ・新たな利用者を確保するた め、利用者ニーズの把握と共 に、引き続き子どもたちを中心 に公共交通に対する興味・関 心を醸成する取り組みを検討 する。 【乗合タクシー】 ・利用者ニーズを反映し、更な る利便性の向上に務める。 ・事業の周知について、引き続 き効果的な手法について検討・ 実施する。
房総自動車(有)	山武市乗合タクシー （市内全域）	②生活様式に合わせて利用方 法を解説する案内チラシを配 布するなど、住民にとって分か りやすい周知を行うことも検討 していただきたい。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。		
(株)両総	山武市乗合タクシー （市内全域）	→ ①利用の低迷している乗合タク シーについて、市内3地域の民 生委員の方（計70名程度）を対 象に、事業説明会を実施。 サービスを必要としているもの の乗合タクシーを使ったことが ない市民に対し、積極的に事 業をPRいただくよう協力をお願 いしました。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。		
(有)松尾タクシー	山武市乗合タクシー （市内全域）	②よくあるお問い合わせのう ち、具体的な利用方法に関す るQ&Aをパンフレットへ追加。 （令和7年4月1日より配布）	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。		

地方運輸局等における 二次評価結果 （関東運輸局）	利用促進、ニーズの取組を継続的に実施していることは評価できる。 引き続き子どもたちを中心とした取り組みを検討することから、将来にわたって公共交通の利用者となり得る子ども・若者世代の公共交通利用を促進し、公共 交通を利用する習慣の形成につなげることを期待したい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年12月18日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鐵道(株)	いすみ循環-1 系統:市役所大原庁舎～長者町駅～いすみ医療センター～市役所大原庁舎(40.5km) 運行回数:平日・土曜とも7便/日	「特定少数の利用者が繰り返し利用しているのではなく、導入の目的を達成しているかを検証するため、延べ乗車人数以外のデータも確認することなども検討していただきたい」との評価結果を受け、市内バス乗降調査などで市民から意見を聞き、バス停留所の待合環境の整備(ベンチの設置)を行い、利用者の満足度向上を行った。	A	事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A	利用状況を注視し、必要に応じ、運行時間帯や便数、運賃などの見直しや改善を検討していく。 また、今後も、広報やホームページ等を活用し、利用促進に向けた継続的な啓発を実施する。
小湊鐵道(株)	いすみ-2 系統:市役所大原庁舎～長者町駅～房信夷隅町支店前(24.3km) 運行回数:平日・土曜とも2便/日		A	事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A	
小湊鐵道(株)	いすみ-3 系統:国吉中学校入口(旧:市役所夷隅庁舎)～下布施～市役所大原庁舎(15.3km) 運行回数:平日2便/日 土曜3便/日		A	事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A	
小湊鐵道(株)	いすみ-4 系統:長者町駅～国吉中学校入口(旧:市役所夷隅庁舎)～市役所大原庁舎(31.4km) 運行回数:平日2便/日		A	事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A	

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	利用者の満足度向上や利用促進の取り組みを行い、計画に位置付けた利用者数の目標を達成されたことを評価する。 市内循環バスの利用者数を増加させることを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。
---------------------------------	--

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月17日

協議会名： 大網白里市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
京成バス千葉イースト(株)	増穂地区コミュニティバス 系統：中部コミュニティセンター ～中部コミュニティセンター (24.3km) 運行回数：8回/日 運賃：200円	潜在的な利用者に対して周知を行うため、市広報やホームページ等で周知を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成出来なかった。 【目標】 1便平均 9.0人 1日平均 72人 年 間 26,280人 【実績】 1便平均 8.9人 1日平均 71.6人 年 間 26,145人 分析：わずかに目標に届かなかったが、ICカードによる運賃支払いや回数券の導入など、利便性向上の取組を実施し、市広報紙やHPにより継続的に周知活動を行ってきたことが、利用者数の維持に繋がったと考える。	・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。
秋葉タクシー(有)	白里地区コミュニティバス 系統：白里公民館～大網白里市役所(22.6km) 運行回数：6回/日 運賃 白里地区⇄大網市街地：500円 白里地区(大網市街地)⇄カシミ：300円 白里地区内、大網市街地内の乗降：200円		A 事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成出来なかった。 【目標】 1便平均 2.8人 1日平均 16.8人 年 間 4,082人 【実績】 1便平均 2.1人 1日平均 12.8人 年 間 3,113人 分析：目標は達成できなかったが、前年度と比較して、利用者数は増加した。引き続き、利用者数の増加に向け、周知に努める。	・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	市広報やホームページで周知活動を実施していることは評価できる。 コミュニティバスの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月13日

協議会名: 多古町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
多古タクシー(有)	多古町デマンドタクシー 営業区域: 多古町内 運行日: 月曜～土曜 運行時間帯: 7時30分～17時30分 運賃: 400円(回数券 300円)	利用対象者を拡大し、高校生も通学のみ利用できることとした。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標: 利用者数を令和11年までに1日あたり45人以上とする 財政負担額を令和11年までに1,570円とする。 実績: 利用者数 28.2人/日 財政負担額 3,029円 分析: 運行範囲が広く乗合率が低いこと。また、人件費や燃料費等の経費が高騰していることが原因と考えられる。	運用効率を上げるため、国の「交通空白」解消事業補助金を活用し、公共交通に関する町民アンケートや分析を実施し、改善点や新たな事業を検討し、効率化を図る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	利用対象の拡充に取り組まれたことを評価する。 デマンドタクシーの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。					

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名: 横芝光町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名: 有限会社横芝 タクシー	横芝光町 デマンド(乗合)タクシー 営業区域: 町内全域 運行日: 月曜～土曜 運行時間帯: 7時～18時 運賃: 300円または150円	【前回の評価結果】 満足度の目標を達成した点は評価 できるが、利用者数の目標は未達成 となった。前年度よりも利用者数は増 加していることから、より一層の地域 の実情に即した交通サービスの提供 を進めていただきたい。 【反映状況】 令和4年3月策定の地域公共交通計 画により令和4年12月から大きな再編 を行い、循環バスについては、利用者 数が少なかった北側ルート廃止し、 デマンド交通(乗合タクシー)の北側専 用車両を1台増車した。南側ルートは、 通勤・通学の鉄道への乗継を考慮し たダイヤにするとともに、交通系IC カードの利用を開始し、また利用者数 が少なかった一部ルートを廃止するこ とで効率化を図った町内バスとして、 町内2ルート各14便で運行を開始し た。	A ●計画に位置付けられた事業は適 切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を 踏まえ、必要に応じ改善を図り、来 年度以降も継続する。	B 【利便性の高い地域公共交通ネットワークの 維持に関する目標】 目標である乗合タクシー利用率は令和7年度 (令和6年10月～令和7年9月)において、目標 値6.0%のところ、7.1%となり目標を達成して いる。年間利用者数についても、目標値 16,403人のところ、18,295人となり、目標を達 成した。利用者の乗合タクシーに対する不満 の割合は、総合計画策定時のアンケート等調 査により値を算出していることから、現状値を 把握することができていないため評価しない。 乗合タクシーの予約不成立数は、目標値1,000 件のところ、532件となり目標を達成した。 【安心・安全に移動できる交通環境の提供に 関する目標】 バリアフリー車両の導入数を現状値0台から 4台へすることが目標値であるが、現状0台で あり、目標値を達成していない。 【将来に渡って持続可能な公共交通サービス の提供に関する目標】 乗合タクシーの収支率を現状値9.7%から 12.0%へすることが目標値であるが、令和7年 度(令和6年10月～令和7年9月)は18.1%と増 加し目標値を達成した。	令和4年3月策定の地域公共 交通計画に基づき、令和4年12 月から大きな再編を行ったが、 より多くの利用者が希望の時 間に乗車できるよう見直しを検 討していくことが必要である。ま た、予約不成立の背景には、 特定の利用者が仮予約をして しまっていることや、運行ルート が噛み合わず利用できない ケースが考えられるため、予約 キャンセルが多い利用者への 対応や、運行ルートを配車ごと に構築することによる乗合率の 増加を図っていくことが必要で ある。また、利用者数の増加を 目指し収支率の改善を図って いく。
事業者名: 株式会社両総			A ●計画に位置付けられた事業は適 切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を 踏まえ、必要に応じ改善を図り、来 年度以降も継続する。		
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	ルートの再編やダイヤの見直しに取り組まれ、利用者数・利用率の目標を達成されたことを評価する。 路線の再編の見直しにあたっては、民間路線バスとコミュニティバスの役割分担にも留意し、地域全体として最適なネットワークとなるよう取り組むことに期待したい。				

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月19日

協議会名: 長南町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(有)長南タクシー	デマンド型交通 運行区域:長南町全域でドア・ ツー・ドア方式 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:7時30分～17時 運賃:500円	前年度の評価結果を踏まえ、 事業を実施している。	A	計画に位置付けられた事業 は適切に実施された。	B	・目標利用者数5,000人に対し 実績5,683人(+683人) ・目標乗合率1.2%に対し実績 1.09%	長南町地域公共交通計画に基づき、 デマンド乗合タクシーの 利便性向上を図る中で、乗合 率の向上を目指す。
ゆたか自動車(株)	デマンド型交通 運行区域:長南町全域でドア・ ツー・ドア方式 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:7時30分～17時 運賃:500円	前年度の評価結果を踏まえ、 事業を実施している。	A	計画に位置付けられた事業 は適切に実施された。	B	・目標利用者数5,000人に対し 実績3,729人(▲1,271人) ・目標乗合率1.2%に対し実績 1.03%	長南町地域公共交通計画に基づき、 デマンド乗合タクシーの 利便性向上を図る中で、乗合 率の向上を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)		一部未達成の目標もあったものの、 昨年の評価結果を踏まえ事業を実施していることは評価できる。 導入している交通によって町民の活動がどのように変わってきたのか、 必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。					

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和8年1月22日

協議会名: 御宿町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
小湊鉄道株式会社	町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を地域内フィーダー系統確保維持事業として、平成26年10月1日から実施。ルートを決めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行している。	乗合運行(デマンド型)について、利用を促進するため、広報等で事業の周知を行ったこともあって、利用者数は大幅に伸びた。	A (事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 ※目標利用者5,400人(15人×360日)に対し実績7,041人(+1,641人) ※目標収入1,620,000円(300円×5,400人)に対し実績2,046,600円(+426,600円)	・利用者には、乗合運行という特性を理解いただき、タクシーサービスも併用するなかで、生活に密着した満足度の高いサービスを実施していく。 ・利用者が増加傾向にあるため、車両増設を含むダイヤ改正を検討する必要がある。 ・利便性向上に向けたキャッシュレス決済等にも対応した環境を段階的に整える必要がある。(DX)

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)事業の周知に取り組まれ、利用者数の目標を達成されたことを評価する。
乗合タクシーの利用者数を増加させることのみを目的とするのではなく、地域全体として移動の足が確保されていることが重要であることに留意いただきたい。